

MJ 文字情報一覧表 Ver.002.03 項目一覧 (案)

2013 年 9 月 19 日

文字情報基盤事務局

項目	内容
MJ 文字図形名	MJ 文字情報一覧表内で一意に定めた文字図形の名称
戸籍統一文字番号	6 桁の 10 進数の戸籍統一文字番号を記した。
住基ネット統一文字コード	「J+」に続けて 4 桁の 16 進数の住民基本台帳ネットワークシステム統一文字コードを記した。
入管外字コード	平成 23 年法務省告示第 582 号第二項第 7 号に示された「国際符号化文字集合に規定する私用文字として別表第一に定める文字の符号化表現」の 16 進数を記した。
(新設) 入管正字コード	平成 23 年法務省告示第 582 号第二項第四号 正字に示された「工業標準化法（昭和二十四年法律第百八十五号）に基づく日本工業規格（以下「日本工業規格」という。）X〇二二一〇号（以下「国際符号化文字集合」という。）に規定する漢字（国際符号化文字集合附属書 J A 日本文字部分レパートリに該当するものに限る。）及び別表第一に定める漢字をいう」の 16 進数を記した。
漢字施策	「常用漢字」は、常用漢字表（平成 22 年 11 月 30 日内閣告示）に示された通用字体（常用漢字表で括弧が添えられていない漢字）に示された漢字である。「人名用漢字」は、戸籍法施行規則別表第二の「漢字の表一・二」に示された漢字である。
X0213	X0213 欄には、JIS X 0213:2004 の面区点位置を記した。
X0213 包摂連番	包摂連番欄には、該当する文字に JIS X 0213:2004 の包摂規準を適用させると符号化できる場合、包摂規準連番を記した。
X0213 包摂区分	包摂区分欄には、「0」「2」の 2 種を記した。「0」は、該当する文字が JIS X 0213:2004 規格票の例示する字体に相当する字形であることを示す。「2」は、該当する文字が JIS X 0213:2004 の包摂規準を適用できる字体に相当する字形であることを示す。
X0212	X0212 欄には、JIS X 0212:1990 の区点位置を記した。

項目	内容
対応する UCS	対応する UCS 欄には、「U+」に続けて ISO/IEC 10646:2012 の 16 進数の UCS コードを記した。ただし、UCS コード情報の確度や対応状況が異なるため、「UCS 対応カテゴリー」欄に確度情報を記した。
(新設) 対応する互換漢字	互換漢字に該当する MJ 文字図形名には、対応する互換漢字欄に、「U+」に続けて ISO/IEC 10646:2012 の 16 進数の UCS コードを記した。
UCS 実装	<p>IPAmj 明朝フォント Ver.002.02 の実装において当該図形に対して割り当てる UCS コードを記した。</p> <p>同一の UCS コードを持つ図形が複数ある場合において、フォント実装において対応付ける図形（デフォルトグリフ）は、下記の優先順位により決定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常用漢字表に掲載されている字形 2. 人名用漢字別表（戸籍法施行規則別表第二漢字の表）に掲載されている字形 3. 住民基本台帳ネットワークシステム統一文字コードと対応する UCS が一致する字形 4. JIS X 0213:2004 に掲載されている例示字形 5. UCS の J 欄（日本提案の字体）に掲載されている例示字形 6. 法務省告示第 582 号別表 1 に掲載されている字形 7. 康熙字典体 8. 「市区町村が使用する外字の実態調査」の出現頻度

項目	内容
UCS 対応カテゴリー	<p>「対応する UCS」欄の確度のカテゴリー分けを下記 (A1,A2,A3,A4,E,F) のように行った。</p> <p>【カテゴリー-A】 平成 23 年度から平成 25 年度までの文字情報基盤整備事業で確認済みのもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A1) ISO/IEC10646 CJK 統合漢字に J ソースがあるもの (JIS X 0213、JIS X 0212 に例示されている文字を含む)。 • A2) 住基ネット統一文字で住基ネット統一文字コードが 3400～9FA5 のもの。 • A3) Unicode Consortium の IVD Version 2010-11-14 の Hanyo-Denshi コレクションとして登録されているもの。 • A4) 文字情報基盤整備事業において個別に確認したものの。 <p>【カテゴリー-E】 ISO/IEC 10646:2014(予定)の発行により、対応する UCS コードの確定が見込まれるもの。</p> <p>【カテゴリー-F】 現在 ISO に提案中であり、対応する UCS コードが存在しないもの。</p>
IVS	Unicode Consortium の IVD Version 2010-11-14 の Hanyo-Denshi コレクションに登録されている IVS を記した。
IVS 実装	IPAmj 明朝フォント Ver.002.02 の実装において IVS を割り当てた文字に○を記した。
MJ 文字図形バージョン	IPAmj 明朝フォント Ver.002.02 および SVG 図形ファイルに収録した文字図形 (MJ 文字図形) のバージョンを記した。
登記統一文字番号(参考)	8 桁の 10 進数の登記統一文字番号を記した。
部首(参考)	部首欄には部首番号を記した。『康熙字典』の部首の通し番号により、1 から 214 までである。

項目	内容
内画数(参考)	内画数欄には部首内画数（部首を除いた残りの部分の画数）を記した。
総画数(参考)	総画数欄には文字の総画数を記した。
読み(参考)	読み欄には文字の読みを記した。原則として、音読みは片仮名、訓読みは平仮名である。
大漢和	大漢和欄には、諸橋轍次『大漢和辞典』（修訂第二版第六刷、大修館書店、2001年）及び鎌田正・米山寅太郎『大漢和辞典補巻』（初版、大修館書店、2000年）の親字番号を記した。なお、『大漢和辞典』及び『大漢和辞典補巻』の親文字と漢字字体に差異があるものの同定が可能なものには、親字番号の末尾に#を付けて示した。
(新設)日本語漢字辞典	日本語漢字辞典欄には、新潮社編「新潮日本語漢字辞典」（第四刷、新潮社、2008年）の検字番号を記した。
汎用電子整理番号(参考)	汎用電子情報交換環境整備プログラムの漢字情報テーブルにおけるレコードの通し番号を記した。
平成明朝(参考)	平成明朝体グリフのグリフ名。平成明朝体グリフは汎用電子情報交換環境整備プログラムの文字グリフ作業委員会にて制作されたものである。
更新履歴	本一覧表において、過去に変更された情報の履歴を記し、変更のあった事項毎に MJ 文字情報一覧表バージョン番号を行頭に付した。